

# 昭和のシルエッ人

## 21

～古き良き時代の記憶～

＜＜宮崎の思い出＞＞



現在、クルーズトレイン「ななつ星 in 九州」や観光特急「36ぷらす3」をはじめ、特急「にちりん」「ひゅうが」等も走る日豊本線の高鍋と佐土原を撮影目的で初めて訪れたのは昭和48年。

C61形蒸気機関車は昭和22～24年にかけて、急増する旅客需要に対応する目的で、余剰となっていた貨物用蒸気機関車D51形のボイラーを流用しC57形同等の下廻りを組み合わせて製造された急行旅客列車用テンダー式蒸気機関車である。先台車／従台車の双方を2軸構造とした「2C2」型で、別名「ハドソン」とも呼ばれている（因みにC57は2C1で「パシフィック」、D51は1D1で「ミカド」）。また日本初の自動給炭機構を採用したカマでもある。

写真の18号機は当初、青森機関区に所属して活躍していたが、昭和46年に2／19／20／24／28号機とともに宮崎機関区へ転属、計6両の「移籍組」の中で最後まで活躍し、昭和49年に引退した。

現在は前頭部が当倶楽部（NPO法人汽車倶楽部）に保存され、第2動輪は福岡市・博多出来町公園に保存されている。

